

挑戦

～故郷のためにできること～

森と共に生きるまち宍粟の
みどりじまん新聞



Vol. 21

令和7年12月号

兵庫県立森林大学校 8期生

伊達 新

Date Arata

大好きな宍粟

私は、令和六年に森林大学校に入学しました。宍粟市で生まれ育った私は、小学校から高校まで、ずっと市内の学校に通いました。そして、なぜまた市内にある森林大学校に入ったのかというと、やはり「宍粟市が好きだから！」というのが一番の理由です。

友人達は、「色々な所に遊びに行きたい。都会に行きたい。」と言います。私もそう思います。でも、都会に出かけて帰って来た時はいつも、改めて宍粟市の空気の美味しさを実感します。そして、自分をずっと見守ってくれている家族や地域の皆さんの優しさを感じて、ほっとした気持ちになります。

美しい自然とあたたかい人達がいるこの宍粟市のことが、私は本当に好きなのです。

森林大学校へ！

私は、宍粟市をより良くしていきたいという意志を持って、森林大学校に入学しました。大学校では、大自然をフィールドに、たくさんの方のことを学ばせてもらっています。

新入生歓迎ハイクでは、大学校のある染河内地区を散策して、地域の自然や歴史について学びました。

また、樹木学実習では、市内の山崎町や波賀町へ出向いて、様々な植物を観察しました。そして、持ち帰った樹木の葉を用いて、標本の作製も行いました。

新入生ハイクー

庭田神社にて
ぬくみの泉を
観察する様子



←樹木学実習

国見の森公園にて、講師から
樹木の説明を
聴講する様子



「みどりじまん新聞」とは💡

「もくいく」
“木育”の視点を持って「森と共に生きるまち“しそう”」が誇る“みどり”の魅力を発信し、森や木に関心をもってもらうことを目的としています。主に「**兵庫県立森林大学校**」の学生が執筆した記事を掲載し、学校での学びを生かして人と木や森林との関わりを伝えてもらいます。

バックナンバー
はこちら



測量学実習では、実際に山の中に入って、測量の方法を学びました。

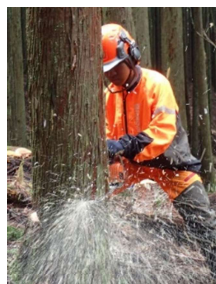
その他にも、刈払機かりばりきを持って下刈りしたがり（苗木が健やかに育つように、周囲の雑草や雑木を刈払う作業）を行ったり、自分達で切った木を集材したりと、森林とふれ合いながら、たくさんの経験を重ねることができています。

私がこれまでで一番楽しく、良い経験だと思ったのは、機械学実習です。この授業では、チェーンソーを使って木の切り方や伐木はきの仕方を習い、数日間をかけてチェーンソーの仕組みを覚えていきます。

私はチェーンソーを使ったことのない素人だったので、初めて丸太を切る時は少し心配でしたが、うまく切ることができました。そして、それから数日後、いよいよ山へ入り、実際に立っている木を切ることにになりました。

一本目を切る時は、本当に緊張しました。「変な方向に倒れたらどうしよう。事故になってしまったらどうしよう。」と、不安な気持ちでいっぱいでした。でも、一本、二本と数をこなしていくうちに、だんだん狙った方向に倒せるようになっていききました。不安が消えて、自信に変わっていきのを感じました。

最初は「難しい。絶対に無理だ。」などと弱音を吐いていた私でしたが、諦めずにがんばれば必ずできるようなことになることを、この経験から学ぶことができました。そして、これをきっかけにチェーンソーに興味を持ち、令和六年度に鳥取市で行われた伐木競技交流会では、個人総合六位という成績を収めることができました。



演習林で伐木を行う
伊達さん

読者のみなさんへ

私は、森林大学校に入ってから良かったです。「努力することとは本当に楽しい！」と心から思える経験を、日々積み重ねることができています。

高校時代にも、様々なことに挑戦してきました。まず、かつこいいという理由で始めた弓道部の活動でしたが、努力の結果が実り、県大会で入賞し、近畿大会出場という結果を残すことができました。また、生徒会活動にも挑戦して、生徒会長も任せていただきました。総合的な探求の時間には、和太鼓の演奏にチャレンジし、多くの人から感動したと言ってもらえたことが本当にうれしかったです。



～高校時代の伊達さん～

右：弓道競技大会（西播大会）の様子

左：生徒会長として文化祭で挨拶をする様子



☆くにみまつり☆

森林大学校は、毎年9月に国見の森公園で開催される「くにみまつり」でブースを出展し、ワークショップなどを通じて、訪れる人たちに木や森の魅力を伝えています！



子どもたちに指導する小島さん（7期生）

「挑戦すること」は、本当に大事なことだと思っています。森林大学校への入学もひとつの挑戦でした。私は、大学校で林業に関する知識や技術はもちろんです。特に宍粟市の森林のことをしっかり学びたいと思っています。そして、卒業後は大学校で学んだことを活かし、きれいな自然や豊かな森林を通じて、宍粟市を活性化していきたいような仕事に携わりたいと考えています。これからも、私の挑戦は続いていきます。

この新聞を読んでくださった皆さんが、宍粟市の森林や林業にさらに興味を持っていただけるならうれしいです。



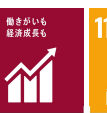
専修学校
兵庫県立森林大学校
Hyogo Prefectural College of Forest Management
(宍粟市一宮町能倉 772-1)

森林経営や森林林業に関わる
人材を幅広く育成する学校

【学校見学 随時受付中】



学校 HP



宍粟市は「森林」を活用したまちの創造・SDGs に取り組みます